

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第2期やまぞえ未来創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

奈良県山辺郡山添村

3 地域再生計画の区域

奈良県山辺郡山添村の全域

4 地域再生計画の目標

本村の人口は、昭和35年の約6,800人から令和2年には3,226人(国勢調査)と半数以下にまで減少した。この減少スピードは全国平均を大きく上回る水準であり、近年の出生数の低下と若年層の流出がこれに拍車をかけている。将来推計では、2025年に3,000人を割り込み、2040年には2,000人を下回る見通しである。特に、高齢化率が70%を超える限界集落の増加が予測されており、奈良県内でも極めて深刻な人口構造の変化に直面している。

急激な人口減少と少子高齢化に伴い、日常生活を支える商業・医療・福祉などの生活サービス基盤の維持が困難になりつつある。サービス産業の撤退による利便性の低下は、さらなる人口流出を招く「人口減少の負の悪循環」を引き起こす懸念がある。また、若い世代の減少は地域コミュニティの活力を削ぎ、将来に対する住民の不安を増大させている。限られた経営資源の中で、いかに効率的かつ質の高い生活サービスを維持し、次世代へ「住み続けられる地域」を繋いでいくかが、本村の最重要課題となっている。

本村が直面する生活基盤の脆弱化とコミュニティの活力低下を打破するため、既存の枠組みに捉われない「村の構造改革」と「新たな活力の呼び込み」を両輪とした取り組みを展開する。まず、生活基盤の維持・確保においては、限ら

れた人的・財政的資源を効率的に配分するため、デジタル技術の活用や民間事業者との連携した取り組みの構築を進める。これにより、高齢者が住み慣れた地域で最期まで安心して暮らせる、持続可能な生活サービス網を再構築する。次に、地域活力の創出においては、村独自の豊かな自然・文化資源を再発掘し、その魅力を戦略的に発信することで、本村に多様な形で関わる「関係人口」の創出・拡大に注力する。村外からの新しい視点や知恵を積極的に取り入れる「開かれた村づくり」を推進し、住民と外部人材が共に地域課題を解決する仕組みを構築することで、将来への不安を希望へと変える活気あるコミュニティへと変革していく。

本村の「個性」を輝かせることで、住民が「ここに住み続けたい」、外部の人が「ここに関わりたい」と強く思える地域を創出する。これにより、人口減少のスピードを抑制し、人口が減っても豊かに暮らし続けられる「持続可能な地域社会」の実現を目指す。

なお、これらに取り組むにあたっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ、目標の達成を図る。

- 基本目標 1 安心して快適に暮らせるむらづくり
- 基本目標 2 自然豊かで美しい環境を保てるむらづくり
- 基本目標 3 学ぶ喜びを感じることができるむらづくり
- 基本目標 4 心身ともに健やかに暮らせるむらづくり
- 基本目標 5 活気と賑わいのあるむらづくり
- 基本目標 6 健全で持続可能な行政運営ができるむらづくり
- 基本目標 7 ひとりひとりが活躍できるむらづくり

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (令和10年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標

ア	防災対策が充実している	30.3	向上	基本目標 1
	救急・消防体制が充実している	40.5	向上	
	防犯対策が充実している	34.3	向上	
	コミュニティーバスなど交通手段が充実している	70.2	向上	
	交通安全対策が充実している	26.5	向上	
	道路が整備されている	23.5	向上	
	上下水道が適切に維持管理されている	62.4	向上	
	地域別の防災訓練への延べ参加者数	225	527	
	防犯カメラの延べ設置件数	36	51	
	公共施設等総合管理計画の改定及び適切な運用の実施	-	改訂・実施	
	コミュニティーバスの年間延べ利用回数 (片道につき1回)	23,000	23,300	
	村が直接維持管理作業を実施する路線数	4	17	
	村道の安全管理(特1級・1級路線の舗装修繕率)	2	50	
	橋梁の長寿命化対策(早急な修繕を要する橋梁数)	3	0	
	主要幹線県道の隣地立木	0	2,400	

	伐採延長 (m)			
	簡易水道管路更新地区数	4	6	
イ	自然環境が守られている	19.0	向上	基本目標 2
	農地バンク成約面積 (ha)	2.56	5.56	
	家庭からのごみ排出量 (t)	570	485	
	地球温暖化対策計画の策 定及び適切な運用の実施	未策定 未実施	策定 実施	
	混交林整備面積 (ha)	1.92	8	
ウ	安心して出産・育児が出来る	37.9	向上	基本目標 3
	子どもの教育が充実している	38.5	向上	
	公民館など文化施設が充実している	29.1	向上	
	スポーツを楽しめる機会が充実している	20.9	向上	
	年齢や性別によらず自分らしく生きることができる	23.0	向上	
	文化的な行事や文化財が保護されている	24.4	向上	
	出生率 (%)	2.27	2.62	
	こども家庭センター利用率 (利用者／未就園児) (%)	93.3	100	
	こども家庭センターの年間利用者延べ人数	1,591	1,600	

架け橋カリキュラムの作成	無	素案完成	
「私には良いところがある」に対して肯定的に回答している児童生徒の割合 (%) 【こころと学校生活に関するアンケート（奈良県教育委員会）】	75.5	85.0	
「授業では課題解決に向けて、自分で考え、自分が取り組んでいた」に対して肯定的に回答している児童生徒の割合 (%) 【全国学力・学習状況調査（文部科学省）】	74.1	85.0	
「地域の大人に授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでももらったりすることがある。（習い事は除く）」に対して肯定的に回答している児童生徒の割合 (%) 【全国学力・学習状況調査（文部科学省）】	40.7	80.0	
当該年度当初（4月1日現在）の人口に対するスポーツイベント等への参加率 (%)	9.28	15	

	歴史文化遺産を残すための調査、アーカイブ作成件数	1	5	
エ	安心して医療が受けられる	41.3	向上	基本目標 4
	健康づくり活動が充実している	37.0	向上	
	福祉のサービスが充実している	55.0	向上	
	健康寿命（歳）	男性：83.18 女性：86.49	男性：84.07 女性：87.03	
	特定健診受診率（%）	50.9	60.0	
	診療所の受診者数／人口（%）	23.1	30.0	
	活動サロン実施箇所数	26	30	
オ	村内の産業に活気がある	6.8	向上	基本目標 5
	空き家の利活用が進んでいる	61.5	向上	
	村商工会員数	112	112	
	農村RMO参画大字数	17	22	
	有機農業取組農地面積（ha）	9.3	10	
	空き家バンク 空き家登録件数（累計）	57	90	
	空き家バンク マッチング件数（累計）	28	45	
	村内観光客入込客数	272,352	300,000	
	ふるさと応援寄附金 受入額（円）	53,000,000	70,000,000	

	ふるさと応援寄附金 寄 附件数	3,900	5,100	
	ふるさと応援寄附金 返 礼品数（累計）	221	236	
カ	効率的な行財政運営がな されている	7.8	向上	基本目標 6
	行政サービスのデジタル 化が進み便利になった	53.6	向上	
	開かれた村政が推進され ている	12.1	向上	
	財政計画の策定及び適切 な運用の実施	未策定 未実施	策定 実施	
	人材育成方針の策定及び 適切な運用の実施	未策定 未実施	策定 実施	
	正職員の年次休暇取得率 （%）	17	37	
	外部人材と共創した事業 数	3	7	
	テレワーク実施日数	0	100	
	村税徴収率（%）	98.65	98.65	
	官民連携事業数	0	4	
	自治体広域連携事業数	0	4	
キ	大字活動への支援が充実 している	24.1	向上	基本目標 7
	住民参画によるむらづく りが進められている	26.5	向上	
	地域における交流やふれ あいの機会が充実してい る	26.3	向上	

	地域づくり支援事業の取 組み件数	62	73	
	アンケート等で収集した 意見数	200	500	
	出張村長室の延べ開催数	-	8	

※2029年度は後期計画策定のための効果検証期間であるため、目標値については2028年度における数値を設定。

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

やまぞえ未来創生推進事業

ア 安心して快適に暮らせるむらづくり

イ 自然豊かで美しい環境を保てるむらづくり

ウ 学ぶ喜びを感じることができるむらづくり

エ 心身ともに健やかに暮らせるむらづくり

オ 活気と賑わいのあるむらづくり

カ 健全で持続可能な行政運営ができるむらづくり

キ ひとりひとりが活躍できるむらづくり

② 事業の内容

ア 安心して快適に暮らせるむらづくり

【防災・防犯・基盤インフラ整備】

・村民の生命と財産を守るため、災害への備えを充実させるとともに、犯罪の防止に取り組むことで、安心安全な地域社会の構築に努めます。

・村民の暮らしを支える基盤となるインフラを整備します。

【具体的な事業】

- ・ 防火・防災啓発活動の強化
- ・ 施設の維持管理および統廃合 等

イ 自然豊かで美しい環境を保てるむらづくり

【自然・環境】

・ 豊かな自然環境を守るため、環境にやさしい取り組みを推進することで、自然環境の保全に努めます。

【具体的な事業】

- ・ ごみの減量
- ・ 温室効果ガス排出削減対策 等

ウ 学ぶ喜びを感じることができるむらづくり

【子育て・教育・文化】

・ 誰もが自分らしく生きることができる共生社会をめざして、子どもから大人までが学び続けることができる環境を整えます。

【具体的な事業】

- ・ 子育て支援対策の推進
- ・ 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実 等

エ 心身ともに健やかに暮らせるむらづくり

【健康・医療・福祉】

・ 元気で、夢や生き甲斐を持ち、生涯を通じて健康で暮らせるよう、医療体制を整備します。

【具体的な事業】

- ・ 健康の保持・増進
- ・ 診療所医師の安定的な確保 等

オ 活気と賑わいのあるむらづくり

【産業・雇用・交流】

・ 地域の活気と賑わいを生み出すため、関係人口や地域活性化の取り組みを推進し、地域で経済が循環する持続可能な社会をめざします。

【具体的な事業】

- ・ 村内企業のPR事業

・移住・定住しやすい地域づくり 等

カ 健全で持続可能な行政運営ができるむらづくり

【行財政・変革】

・村民目線で、村民の幸せを実現し続けるため、選択と集中による効率的な行政経営に努めます。

【具体的な事業】

・効率的・効果的な行政の推進
・働き方の再デザイン 等

キ ひとりひとりが活躍できるむらづくり

【地域再デザイン】

・住民自治を推進し、村民一人ひとりがむらづくりに「自分ごと」として参画できる仕組みを構築します。そのために、タウンミーティングやアナログ、デジタル両面でのアンケート等を通じて課題や方策を共有し、住民協働への共通理解を醸成していきます。

・村民が地域に愛着を持ち続け、関係人口を創出するため、地域の魅力を発信する取り組みを行います。

【具体的な事業】

・地域活動の支援
・情報共有と広報広聴機能の充実 等

※なお、詳細はやまぞえ未来創生計画のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

840,000千円（令和8年度～令和11年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度7月頃に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに本村公式WEBサイトにおいて公表する。

⑥ 事業実施期間

令和8年4月1日から令和12年3月31日まで

6 計画期間

令和8年4月1日から令和12年3月31日まで